

令和3年度・4年度・5年度 東京都教育委員会 授業改善拠点校
令和5年度 授業実践リーフレット

令和5年度 第1回 授業研究の記録 低学年分科会

研究主題

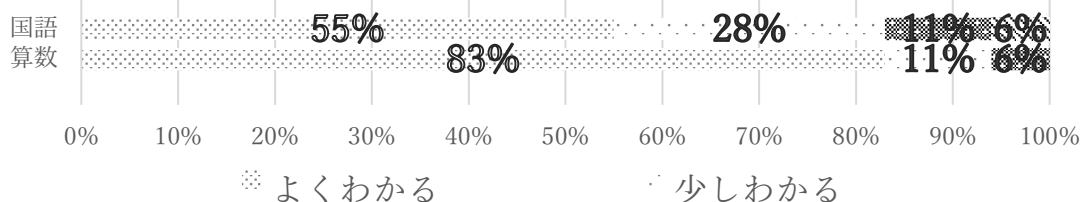
学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える

～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析を通して～

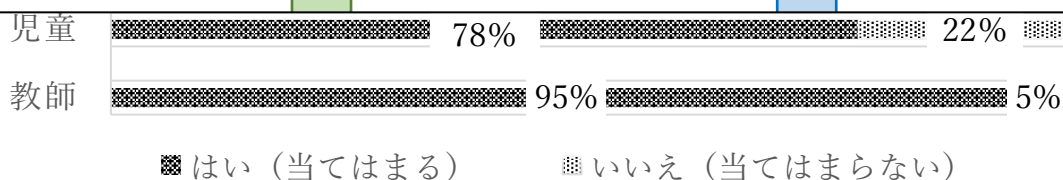
分科会提案

現在の児童の姿 「児童・生徒の学力向上を図る調査」の分析より
以下の3点について、本単元で重点的に改善を行う。

- 1 「国語の学しゅうはよくわかりますか。」
2 「算数の学しゅうはよくわかりますか。」の調査項目



17 学校の授業について
じゅぎょうでは、自分で分
かったことや考えたこと
を友だちや先生に説明す
る時間があると思う。



国語学習に対しての自己肯定
感が低く、自信をもって学習
に取り組むことができない。

考えの交流について、児童がそ
の意義を理解して活動に組み
込むことができない。

見通しをもって活動に取り組むこ
とができない。

児童が「分かった」「でき
た」という達成感を感じる
ことができるような取組を
行っていく。

児童が説明する場面では、説明す
ることのよさを価値付け、さら
に「説明する」という行為を強調し
た言葉掛けを行うことで、児童に
実感をもたせていく。
17の改善

学習計画表を提示したり、家庭
学習との連携を図ったりするこ
とで、すすんで学習に取り組む
ことのできる活動を取り入れて
いく。
17の改善

1の改善

17の改善

17の改善



目指す児童像

課題に対して試行錯誤しながら諦
めずに取り組むことができる。

課題を正しく捉え、適切に解決す
ることができる。

課題に取り組む際に、自分である
程度の見通しをもって取り組む
ことができる。

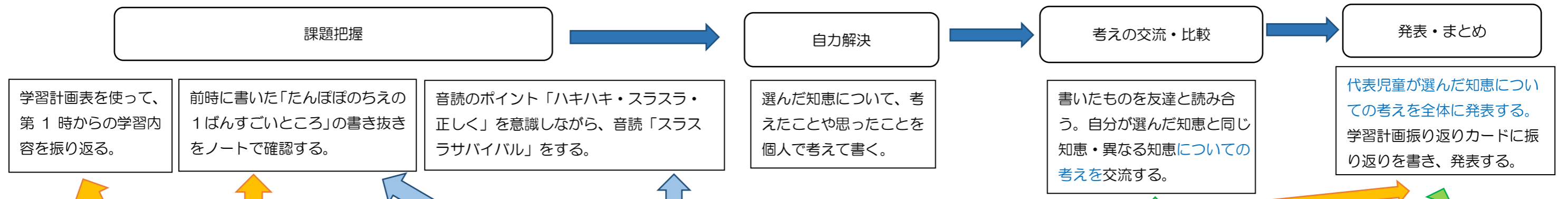
第1学年 国語科

1 単元名 じゅんじょに気をつけて読もう

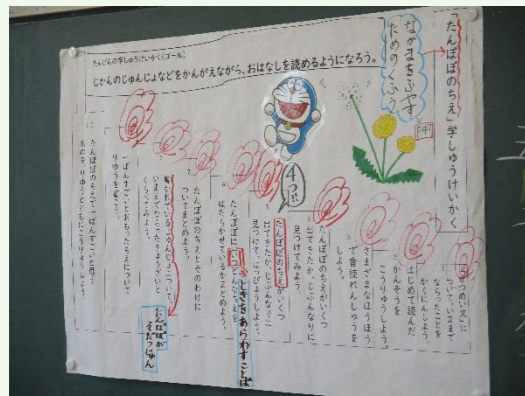
2 単元目標

- (1) 順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- (2) 時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。
- (3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。

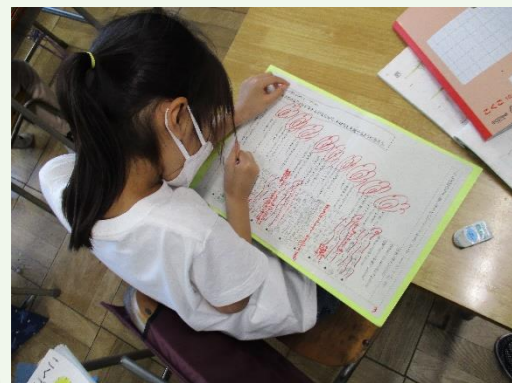
3 本時の流れ



手だて1 「学習計画表と振り返りカードの活用」



学習計画表を掲示したり、振り返りカードに毎時間書かせたりすることで、見通しをもって安心して学習したり、意欲的に学習に取り組んだりすることができた。



手だて2 「様々な音読方法を取り入れた音読指導」

様々な音読方法を取り入れた音読指導を毎時間継続して行うことで、家庭学習についての音読に意欲的に取り組むことができた。



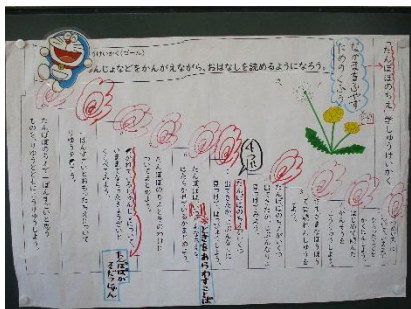


手だて3 「交流活動の充実」



自分と異なる意見をもつ友達とも積極的に交流できるように、自由に立ち歩いている意見交流は、主体的に取り組む態度を育成することができた。



児童に見られた様子

手だて1 「学習計画表と振り返りカードの活用」	手だて2 「様々な音読方法を取り入れた音読指導」	手だて3 「交流活動の充実」
<p>学習計画表を掲示したり、振り返りカードに毎時間書かせたりすることで、見通しをもって安心して学習したり、意欲的に学習に取り組んだりすることができた。</p> 	<p>様々な音読方法を取り入れた音読指導を毎時間継続して行うことで、家庭学習における音読に意欲的に取り組むことができた。</p> 	<p>自分と異なる意見をもつ友達とも積極的に交流できるよう、自由に立ち歩いての意見交流は、主体的に取り組む態度を育成することにつながることができた。</p> 

成果

- 学習計画表を掲示したり、振り返りカードに毎時間書かせたりすることで、見通しをもって安心して学習したり、意欲的に学習に取り組んだりする手だてとして有効であった。
- 友達と立ち歩いての意見交流は、主体的に取り組む態度を育成することにつながることができた。
- 様々な音読を取り入れる音読指導は、家庭学習における音読に意欲的に取り組む手だてとして有効であった。

課題

- 学びに向かう力を育むために、指導方法を今後も検討していく必要がある。
- 支援を要する児童も理解力を高めることのできる交流活動の方法を、更に考えていく必要がある。